

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

陣馬形山魅力創造プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県上伊那郡中川村

3 地域再生計画の区域

長野県上伊那郡中川村の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

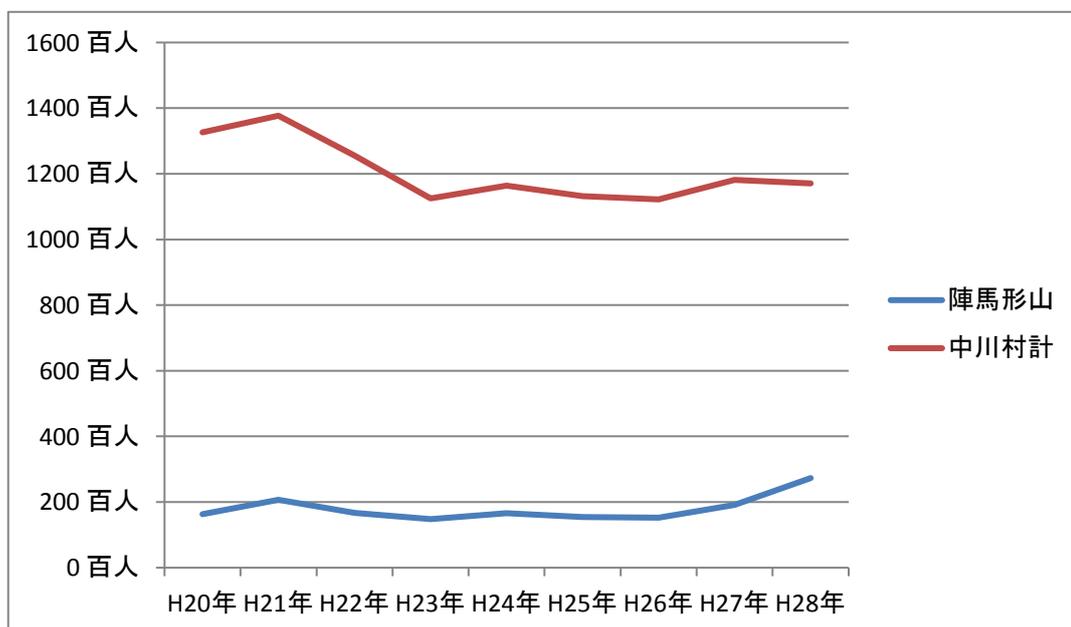
中川村は、長野県の南部の中山間地域に位置し、農業を基幹産業とする人口約5,000人の過疎の村で、村の人口は、昭和50年以降5,500人前後でほぼ横ばいとなっていたが、平成12年以降は緩やかな減少が続いている。

村は、平成20(2008)年にNPO法人「日本で最も美しい村」連合に加盟し、村の景観や環境・文化を守り、地域資源を活かしながら美しい村としての自立を目指す運動を進めている。

「日本で最も美しい村」連合加盟時に地域資源の一つとして認定された「陣馬形山」(標高1,445m)は、伊那山脈の中で最も西に位置し、山頂からは、中央・南アルプスの山並みが目の前に広がり、眼下には南北に走る天竜川が帯のように流れ、その兩岸の辰野町から飯田市に及ぶ伊那谷が一望され、伊那谷随一の景観と称される。古くは、戦国時代、武田信玄の狼煙台として軍事的な情報伝達手段などに使用されたといわれている。近年、国内でも屈指の航空写真に匹敵する展望スポットとして「天空のキャンプ場」としてSNSにより注目度が上がり、「観光地延利用者数の推移(図1)」及び「域外からの来訪者の推移(図2)」に示すとおり、陣馬形山の利用者は平成20年の16,300人から平成28年の27,300人へと増加しているが、地域全体の観光地利用者数は平成20年に132,600人だったものが、平成28年には117,100人へと減少している。

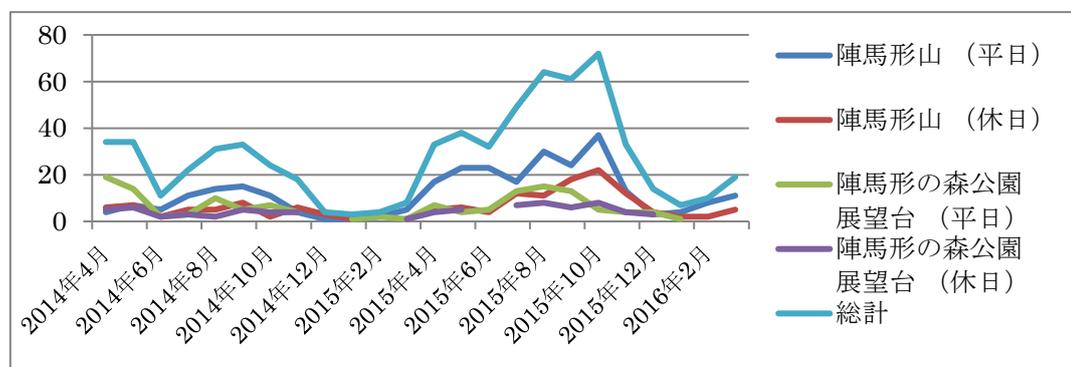
このような状況を背景に、村では、平成27年度に策定した「まち・ひと・しごと創生 中川村総合戦略」において、「陣馬形山」を観光振興の核と位置づけ、地域資源である自然と景観を活かした観光地域づくりを進め、地域全体のにぎわい創出に取り組んでいる。

図1 観光地延利用者数の推移



【出典】長野県観光地利用者統計

図2 域外からの来訪者の推移（陣馬形山頂までの経路検索回数）



【出典】RESAS観光マップ-国内-目的地分析
株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

4-2 地域の課題

観光地利用者数の減少に伴う観光消費額の減少により、村内観光業の衰退が懸念される。

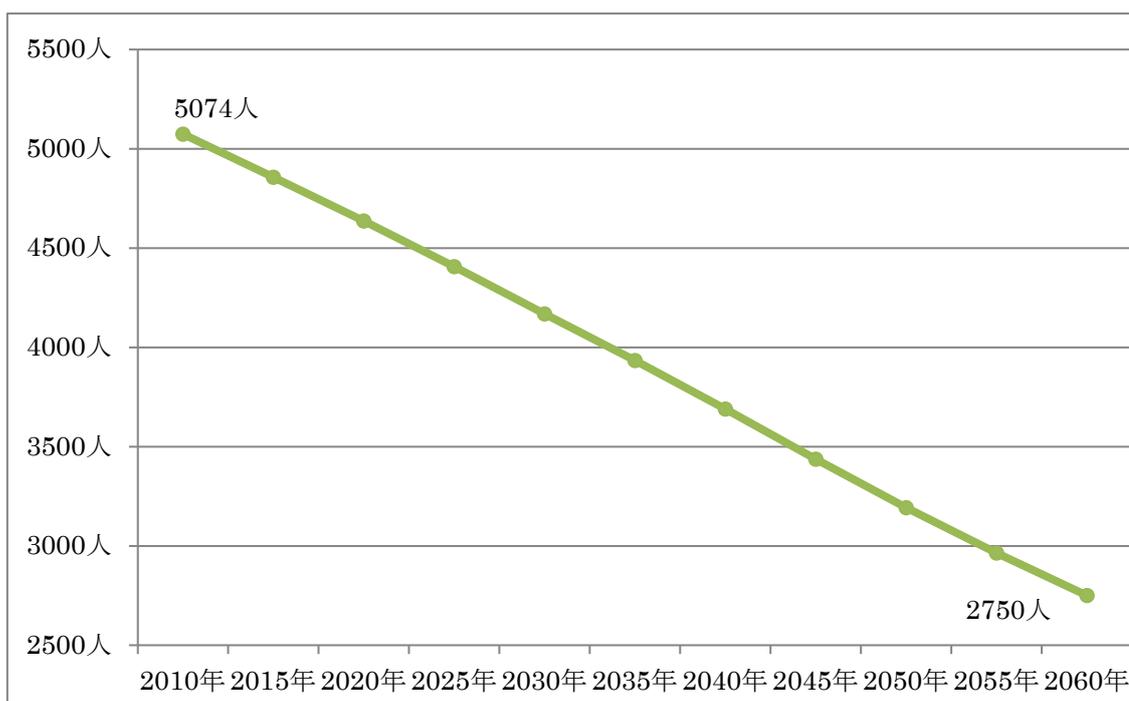
また、図3に示すとおり、平成22(2010)年国勢調査を基本とした、平成25(2013)年3月発表の国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、平成22(2010)年に5,074人であった村の人口は、平成72(2060)年には2,750人まで減少することが予測されており、人口減少に伴う消費活動の減少により

地域経済の停滞の恐れがある。

このような状況の中、中川村が位置する伊那谷南部地域においては、リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の整備が進んでおり、2027年のリニア中央新幹線の開業及び将来の三遠南信自動車道の開通を見据えると、愛知県や静岡県から中川村を訪れる観光客の拡大と、リニア中央新幹線開業の効果として国内外からの誘客が期待されている。

この機会を逃すことなく観光誘客につなげるため、村の重要な観光資源であり、近年注目を集め利用者が増加している「陣馬形山」の魅力を上昇させることで更なる利用者の増加を図るとともに、インバウンド観光の促進も含め、地域全体で観光客拡大への対応を進めることにより交流人口の増加と観光消費額の拡大を図り、地域の経済活動を活性化させることが喫緊の課題である。

図3 将来人口推計



【出典】 RESAS人口マップ-将来人口推計

※全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計（社人研推計準拠）

4-3 目標

陣馬形キャンプ場の整備、陣馬形山登山客のための施設整備と陣馬形山麓道路の安全対策を一体的なプロジェクトとして実施する。

村の地域資源の一つである陣馬形山を中心とした観光地域づくりを推進

することで観光利用者数を増加させ、地域全体の観光消費額の拡大による観光関連産業の活性化と交流人口の増加により地域経済を活性化させることを目標とする。

【数値目標】

事業	天空のキャンプ場等整備事業			
K P I	陣馬形山延利用者数 ^{※1}	年月	域外からの来訪者数の指標 (陣馬形山頂までの経路検索回数 ^{※2})	年月
申請時	27,300人	H28.12	411人	H27.12
初年度	28,000人	H30.12	450人	H30.12
2年目	30,000人	H31.12	500人	H31.12

※1：長野県観光地利用者統計調査より（調査期間：1月～12月）

※2：RESAS観光マップより（調査期間：1月～12月）

株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

SNSにより「天空のキャンプ場」として注目度が上がり来訪者が増加している陣馬形キャンプ場を、より安全、快適に訪れることのできる誘客の拠点と位置付け、観光地域づくりに向けた全体的な計画を策定するとともに、並行して、陣馬形キャンプ場利用者からの要望が強い「山頂トイレ」の建替えや案内看板及び駐車場の整備、テントサイトの増設等により、村の観光地を訪れる者の満足度を上げ、観光客数の増加を図るための施策を推進する。

また、観光地域づくりを進めることにより、地域全体の観光消費額の拡大並びに交流人口増加のための取り組みとして、農家民泊をはじめとした宿泊施設への支援、合宿の誘致並びに四徳・桑原キャンプ場の運営を進める。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

(1) 事業名：天空のキャンプ場等整備事業

(2) 事業区分：観光業の振興

(3) 事業の目的・内容

(目的)

中央アルプス、南アルプスを俯瞰し信州伊那谷随一の眺望を誇る陣馬形山は、村内はもとより近隣の小中学校の登山、キャンプ地として利用されてきた。平成元年頃からその利用も減少傾向にあったが、近年、インターネット及びSNSの急激な普及により、天空のキャンプ場として人気を集め、県内外から多くの来訪者が訪れる観光地へと変貌を遂げつつある。

天空のキャンプ場を核とした観光地域づくりを推進し、交流人口の更なる増加と、村内観光施設の利用促進や地域経済の活性化を目指すため、来訪者の満足度の向上からリピート客を獲得し、中川村を定期的に訪れるファンの増加につなげるための事業を総合的に実施する。

(事業の内容)

陣馬形山山頂に位置する天空のキャンプ場内の汲取式トイレを改築するために水洗化に向けた検討を行い、山頂を訪れる誰もが使いやすい快適なトイレを整備する。

また、年々増加する来訪者に対応するため、天空のキャンプ場を中心として、誰もが安全かつ快適に利用できるように、案内看板の設置や林道の安全対策、駐車場の整備及びキャンプスペースの整備を一体的に実施する。

→各年度の事業の内容

天空のキャンプ場等整備事業

初年度) 山頂トイレの建替え及び給水設備の整備

キャンプスペースの整備

案内看板の設置

林道の安全対策

2年目) 駐車場及び遊歩道の整備、キャンプスペースの整備

(4) 地方版総合戦略における位置付け

「まち・ひと・しごと創生中川村総合戦略」において、村内の観光資源を結びつけ、地域全体の観光産業の活性化を図ることを目的として、観光資源の活用による観光産業の活性化のための施策の一つに観光施設の整備を掲げている。

重要業績評価指標(KPI)として、観光地利用者数(平成26年度10万

人→平成31年度11万人)を掲げており、本事業は、この目標達成に直接寄与するものである。

(5) 事業の実施状況に関する客観的な指標 (重要業績評価指標 (K P I))

事業	天空のキャンプ場等整備事業			
K P I	陣馬形山延利用者数 ^{※1}	年月	域外からの来訪者数の指標 (陣馬形山頂までの経路検索回数 ^{※2})	年月
申請時	27,300人	H28.12	411人	H27.12
初年度	28,000人	H30.12	450人	H30.12
2年目	30,000人	H31.12	500人	H31.12

※1:長野県観光地利用者統計調査より(調査期間:1月~12月)

※2:RESAS観光マップより(調査期間:1月~12月)

株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

(6) 事業費 (単位:千円)

天空のキャンプ場等整備事業	年度	H30	H31	計
	事業費計		48,500	11,500
区分	委託料	2,500	-	2,500
	工事請負費	46,000	11,500	57,500

(7) 申請時点での寄附の見込み (単位:千円)

	H30	H31	計
伊那食品工業株式会社	10,000	-	10,000
計	10,000	-	10,000

(8) 事業の評価の方法 (P D C Aサイクル)

(評価の手法)

定量目標の達成状況を確認するため、年度毎に各指標を取りまとめ、庁内会議及び外部有識者で構成される中川村総合戦略推進委員会において

評価検証を行う。また、検証結果を踏まえ、目標の実現に向けて必要な計画の見直しを行う。

(評価の時期・内容)

毎年10月（各指標を取りまとめた後）、事業の実施状況及び目標の達成状況から事業の効果検証を行う。

(公表の方法)

事業の実施状況及び効果検証結果等について、中川村ホームページで公表する。

(9) 事業期間

平成30年4月～平成32年3月

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 陣馬形の森公園整備基本構想策定事業

事業概要：県立自然公園に指定されている「陣馬形の森公園」を観光地域づくりの中心と位置付け、村の自然観光資源を活かした地域全体の観光消費額の拡大及び交流人口の増加を図るため、陣馬形山麓エリア一帯の整備の前提となる、基本構想を策定する。

実施主体：中川村

事業期間：平成29年度～平成30年度

(2) 陣馬形の森公園キャンプ場施設整備事業

事業概要：キャンプ場利用者の利便性を向上させるため、キャンプサイトをつなぐ階段及び駐車場からキャンプ場までの遊歩道の設置を行う。

実施主体：中川村

事業期間：平成30年度～平成31年度

(3) 陣馬形の森公園キャンプ場周辺森林整備事業

事業概要：陣馬形の森公園キャンプ場周辺の適正な森林整備（除伐等）を行うことにより、眺望を維持するとともに、自然観光資源の維持保全に努める。

実施主体：中川村

事業期間：平成30年度～平成32年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

【検証方法】

- ① 庁内会議において事業の実施状況を報告し、効果検証する。
- ② 中川村総合戦略推進委員会（外部有識者会議）へ庁内会議での検証結果を報告する。
- ③ 議会へ効果検証結果並びに有識者からの意見を報告する。

【外部組織の参画者】

中川村商工会長、中川村建設業協会長、上伊那農業協同組合理事、中川村農業経営者会議会長、元日本大学生物資源科学部森林資源学科専任講師、中川村教育長、中川村商工会女性部長、中川村商工会青年部長、中川村結婚相談員、みなかた保育園保護者会長、片桐保育園保護者会長、中川東小学校PTA副会長、中川西小学校PTA副会長、中川中学校PTA副会長、農業者、住宅団地居住者、村営住宅入居者

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

毎年7月に中川村総合戦略推進委員会において庁内会議による検証結果に対する意見集約を行った後、庁内会議において次年度以降の事業実施方針を検討する。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

中川村総合戦略推進委員会での意見集約及び議会への報告の後、中川村ホームページで公表する。